

超低汚染型セラミック変性ターペン可溶
アクリルシリコン樹脂上塗塗料

セラMシリコンⅢ

系 統 超低汚染型セラミック変性アクリルシリコン塗料

適用規格 JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料(2級)

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

特 長

- 1) 耐候性・耐汚染性が非常に優れています。
- 2) 塗料用シンナーで希釈可能であり、臭気が少なく作業環境に優れています。
- 3) 幅広い下塗適性を有します。
- 4) 光沢・肉持ち感が良く乾燥が優れています。
- 5) 塗装作業性、仕上がり性に優れています。
- 6) 内・外部に幅広く適用できます。
- 7) 防カビ性、防藻性を有しています。

塗装条件

塗装方法	ハ ケ	ローラー	エアレス		
希 釈 率	0～10%	0～10%	5～10%		
標準所要量 (kg/m ² /回)	0.12	0.12	0.14		
希 釈 剤	塗料用シンナーA				

注) 標準所要量は、個々の条件によって異なります。
標準所要量は、塗装作業に必要な使用量の数値です。
公共建築工事標準仕様書の塗付け量は0.10kg/m²です。

塗装間隔

温 度		23℃	
項 目	最 短	4 時間	
	最 長	7 日	
使 用 時 限		8 時間	

塗料性状 ※上記JIS規格は、つや有りのみに適用されます。

	項 目	内 容
1	荷 姿	3.5kgセット、16kgセット ベース: 3.0kg、13.7kg 硬化剤: 0.5kg、2.3kg
2	混 合 比	ベース／硬化剤＝6／1
3	色	白及び各色
4	つ や	つや有り、7分つや、5分つや、3分つや
5	仕 上 が り 感	平 滑
6	塗 料 比 重	1.14(白)
7	溶 剤 比 重	0.84
8	加 熱 残 分	58%(白)
9	劇 物 表 示 (品名・含有量)	—
10	労 安 法 上 の 表 示 有 害 物	ベース: キシレン エチルベンゼン 硬化剤: —
11	有機則/特化則	ベース: 第3種有機溶剤等 硬化剤: 第3種有機溶剤等
12	消 防 法 に よ る 危 険 物 区 分	ベース: 第4類 第2石油類(非水溶性) 硬化剤: 第4類 第2石油類(非水溶性)
13	硬 化 剤 の 成 分 に よ る 区 分	イソシアネート

主な適用素材

コンクリート、モルタル、鉄

主な適用下塗塗料

ザウルスEXⅡ、スーパーザウルスⅡ、エスコ、エポマリンGX、浸透形シーラー、
浸透形Mシーラー、エポMシーラー、ダイナミックプライマー
マルチタイルコンクリートプライマーEPO、アレスホルダーHG

主な適用中塗塗料

セラMシリコンⅢ 中塗

主な適用上塗塗料

使用上の注意事項

- 1) 下塗にエコカチオンシーラーは使用しないで下さい。
- 2) 希釈シンナーは、塗料用シンナーAを使用して下さい。
- 3) ベースに添加剤を添加した後、即座に攪拌して下さい。
ベース、硬化剤は湿気の影響を受けやすいので、使用後は缶を密閉し、
保管場所・条件には、特に注意して下さい。
- 4) 塗装用具の洗浄には、ラッカーシンナーを使用して下さい。
- 5) モルタル・コンクリート素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下
(ケット科学社製(H-2))または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリート
レンジ)まで乾燥させた後、適切な下塗りを塗装後に本品を塗装して下さい。
- 6) 塗装する際は、適切な下地処理を行って下さい。
- 7) ベースと硬化剤を調合したものは8時間以内に使い切して下さい。
- 8) 換気の良い場所で取り扱い、容器はその都度密栓して下さい。
- 9) その他、塗料の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細については、
- 10) SDS(安全データシート)を参照して下さい。

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

※本製品説明書の内容には、予告なくして変更することがありますのであらかじめ
ご了承ください。